

免許証の自主返納

運転に不安を感じる方や、そのご家族の方は、運転免許証の自主返納について、ご検討ください。自主返納後は「運転経歴証明書」の申請が可能です。運転経歴証明書は身分証として使うこともでき、また、提示することで受けられる特典もあります。詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。



サポートカー限定免許

サポートカー限定免許制度とは？

運転に不安を感じる方が、免許証の自主返納だけでなく、より安全なサポートカーに限定して運転を継続するという新たな選択があります。

サポートカー限定免許で運転できる車

下記A、Bいずれかを満たす「普通自動車」※後付けの装置は対象外



※対象車両については、警察庁ウェブサイトを参照

愛知県交通安全推進協議会実施機関・団体名

- | | | |
|---|---|--|
| 愛知県
各市町村
愛知県警察本部
中部管区行政評価局
名古屋地方検察庁
名古屋法務局
名古屋保護観察所
中部運輸局
中部運輸局愛知運輸支局
愛知労働局
中部地方整備局
中部地方整備局名古屋国道事務所
中日本高速道路株式会社
名古屋高速道路公社
愛知県道路公社
愛知県交通安全協会
愛知県安全運転管理協議会
愛知県社会福祉協議会
愛知県公民館連合会
愛知県老人クラブ連合会
愛知県青少年団体連絡協議会
日本ボーイスカウト愛知連盟
愛知県青年団協議会
日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会
愛知県人権擁護委員連合会
愛知県女性団体連盟
愛知県地域婦人団体連絡協議会
愛知県子ども会連絡協議会
愛知県青少年育成県民会議
愛知県医師会
愛知県保護司会連合会
名古屋人権擁護委員協議会
愛知県弁護士会
名古屋青年会議所
名古屋青年団体協議会
名古屋地域女性団体連絡協議会
名古屋市区政協力委員議長協議会
愛知県交通安全母の会
愛知県教育委員会
愛知県小中学校長会
愛知県公立高等学校長会
愛知県私学協会
愛知県私立大学協会
愛知県私立短期大学協会 | 愛知県公立幼稚園・こども園長会
愛知県私立幼稚園連盟
愛知県社会教育委員連絡協議会
愛知県小中学校PTA連絡協議会
愛知県公立高等学校PTA連合会
愛知県私立保育園連盟
愛知県専修学校各種学校連合会
中部運輸局
名古屋市教育委員会
名古屋市立小中学校長会
名古屋市立高等学校長会
名古屋市立幼稚園長会
名古屋市立小中学校PTA協議会
愛知県自動車会議所
愛知県トラック協会
愛知県タクシー協会
名古屋タクシー協会
愛知県バス協会
愛知県バス運送協同組合
愛知県自家用自動車協会
JAF愛知支部
愛知県自動車整備振興会
愛知県自動車販売店協会
愛知県軽自動車協会
愛知県中古自動車販売協会
愛知県自動車部品販売協会
中部自動車リース協会
愛知県レンタカー協会
日本自動車査定協会
日本自動車タイヤ協会
中部地区自動車管理業協会
愛知県道路標識・標示業協会
自動車事故対策機構名古屋支所
軽自動車検査協会愛知主管事務所
自動車安全運転センター愛知県事務所
愛知県交通運輸産業労働組合協議会
日本労働組合総連合会愛知連合会
愛知県自転車モーター商協同組合
愛知県二輪車普及安全協会
愛知県オートバイ事業協同組合
愛知県石油商業組合
愛知県指定自動車教習所協会
愛知県サイクリング協会
愛知県ウォーキング協会 | 愛知県名古屋市道路利用者会議
愛知県高速道路交通安全協議会
全日本学生自動車連盟中部支部
日本郵便株式会社東海支社
東海旅客鉄道株式会社
中部鉄道協会
名古屋鉄道株式会社
近畿日本鉄道株式会社
豊橋鉄道株式会社
名古屋臨海鉄道株式会社
衣浦臨海鉄道株式会社
愛知環状鉄道株式会社
愛知高速交通株式会社
名古屋臨海高速鉄道株式会社
愛知県土木研究会
愛知県生コンクリート工業組合
愛知県商工会議所連合会
愛知県商工会連合会
愛知県経営者協会
愛知県商店街振興組合連合会
全国共済農業協同組合連合会愛知県本部
愛知県遊技業協同組合
名古屋商工会議所
愛知県損害保険代理業協会
愛知県すし商生活衛生同業組合
愛知県雑穀食品生活衛生同業組合
愛知県中華料理生活衛生同業組合
愛知県社交飲食生活衛生同業組合
愛知県料理生活衛生同業組合
愛知県飲食生活衛生同業組合
愛知県喫茶飲食生活衛生同業組合
愛知県食鳥肉販売業生活衛生同業組合
愛知県食肉生活衛生同業組合
愛知県水雪生活衛生同業組合
愛知県果物生活衛生同業組合
愛知県美容生活衛生同業組合
愛知県興行協会
愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合
愛知県公衆浴場業生活衛生同業組合
愛知県クリーニング生活衛生同業組合
各報道機関
(順不同) |
|---|---|--|

【合計 270 実施機関・団体 2022年7月22日現在】

《自転車安全利用五則》

- ①自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ②車道は左側を通行
- ③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④安全ルールを守る
- ⑤子供はヘルメットを着用（※）



※愛知県では、自転車利用者は乗車用ヘルメットを着用

事務局 愛知県防災安全局県民安全課

〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL 052-954-6177 (9時～17時)
FAX 052-954-6910
E-mail kenmin-anzen@pref.aichi.lg.jp

2022年

秋の全国交通安全運動実施要綱

《期間》

2022年9月21日（水）から9月30日（金）までの10日間
※「県内一斉大監視」9月27日（火）午後4時から午後6時の間
※「交通事故死ゼロを目指す日」9月30日（金）

《目的》

秋は、日没時刻が日に日に早まり、運転者から歩行者や自転車の動きが見えづらくなる夕暮れ時と、仕事や学校からの帰宅時間帯とが重なるため、歩行者や自転車利用者が被害に遭う交通事故の危険性が高まります。
また、歩行者、自転車利用者の事故の中には、歩行者、自転車利用者側の法令違反が原因となるケースがあり、交通ルール遵守の徹底が課題となっています。
そこで、次の運動重点に沿った秋の全国交通安全運動を県民総ぐるみで展開し、交通事故の防止を図ります。

《運動重点》

- 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶
- 自転車の交通ルール遵守の徹底

《スローガン》



《サブスローガン》

実践しよう 交通安全スリーS運動



- Stop（ストップ）**
- ・赤信号は確実にストップ、一時停止場所では自転車もストップ
 - ・横断歩道や交差点では歩行者優先
 - ・飲酒運転の根絶
- Slow（スロー）**
- ・子供や高齢者を見かけたらスローな運転
 - ・見通しが悪い交差点では徐行
- Smart（スマート）**
- ・全ての人に対して思いやりをもった運転と、運転中はスマートフォン等を絶対使用しないスマートな運転
 - ・シートベルトの全席着用の徹底
 - ・急発進や急制動をしない、落ち着いたアクセルの踏み込みなど環境に配慮したスマートな運転

愛知県交通安全推進協議会

《運動の進め方と取組内容》

愛知県交通安全推進協議会の各実施機関・団体は、相互に連携を図りながら、県民総ぐるみの運動となるよう、それぞれの地域や組織の実情に応じて、運動の重点を踏まえた具体的な実施計画を策定し、主体的な活動を推進する。

◎2022年広報重点

- **スマホ画面 見るの一時 事故一生**
- **その一歩 踏み出す前に 確認を**
- **危ないよ スマホ 傘さし 二人乗り**



◎取組内容

運動重点1 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保

(1) 歩行者の交通ルール遵守の徹底

- 歩行者に対して、信号を守る、横断歩道を利用するなど交通ルールの遵守徹底を図る。
- 横断時には、子供も大人も手を挙げて横断する意思表示をし、横断歩道手前で止まったドライバーに会釈をするなど感謝を伝え、横断途中も他の車が来ていないか気を付ける「ハンド・アップ運動」の実践を促進する。
- 自動車の直前・直後の横断や、斜め横断、「歩きスマホ」の危険性を周知する。
- 幼児・児童の安全な道路の通行に向けて、日常生活や教育現場における、発達段階に応じた交通安全教育を推進する。
- 高齢歩行者の死亡事故の特徴を踏まえ、高齢者自身が加齢に伴って生ずる身体機能の変化を理解し、道路交通の場において、安全行動を実践するための交通安全教育等を推進する。
- 明るい服装の着用や、反射材用品の視認効果の周知及び活用の実践を促進する。



(2) 歩行者の安全確保

- 通学路や子供が日常的に集団で移動する経路等における見守り活動等を推進する。
- 「ゾーン30プラス」の整備を始めとする生活道路対策を推進するとともに、通学路交通安全プログラム等に基づく点検や対策を推進する。
- ※ 「ゾーン30プラス」・・・最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域。



運動重点2 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び

飲酒運転の根絶

(1) 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

- 視界が悪くなる夕暮れ時と夜間の交通事故を防止するための交通安全教育を推進する。
- 夕暮れ時における自動車・自転車の「ライト・オン運動」を実践するとともに、自動車運転者においては、対向車や先行車がないときは、走行用前照灯（ハイビーム）の活用を周知する。

(2) 運転者の歩行者等への保護意識の向上

- 横断歩道に歩行者等がないことが明らかな場合を除き、直前で停止可能な速度で進行する。その際、横断し、又は横断しようとする歩行者等がいる場合には必ず一時停止をして、その通行を妨げないよう歩行者等の優先を徹底する。
- 交通事故を防止するための基本的な運転行動を表した「交通安全スリーS運動」の実践を促進する。
- 運転中のスマートフォン等の使用の危険性について、広報啓発を推進する。

ライト・オン運動

運転者の視認性の向上を図り、歩行者・自転車利用者や対向車に自車の存在をいち早く知らせる取組

◎点灯時刻の目安

(日没時刻の概ね1時間前)

9月…17:00 10月…16:30

11月…16:00 12月…16:00

※雨天・曇天の視界不良時は昼間でも点灯

(3) 飲酒運転の根絶

- 交通事故被害者等の声を反映した広報啓発活動を通じ、地域ぐるみで「飲酒運転四（し）ない運動」を徹底するとともに、「飲酒運転を許さない社会環境」の醸成を図る。
- 飲食店等においては、運転者への酒類提供禁止を徹底するほか、飲酒をせず運転する人をあらかじめ決めておく「ハンドルキーパー運動」を促進する。
- 安全運転管理者等による運転者に対する酒気帯びの有無の目視確認等や、業務に使用する自動車の使用者等の義務に関する指導を徹底する。

「飲酒運転四（し）ない運動」

- ★ 運転するなら酒を飲まない。
- ★ 酒を飲んだら運転しない。
- ★ 運転する人に酒をすすめない。
- ★ 酒を飲んだ人に運転させない。

(4) 妨害運転の防止

- 妨害運転の悪質性・危険性の周知と罰則について広報を推進する。
- 「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った運転の必要性を広報し、ドライブレコーダーの普及を促す。

(5) 二輪車運転者等に対する広報啓発

- 二輪車の特性や信号無視、速度超過の危険性の周知についての広報啓発を推進する。
- 電動キックボード等の利用者に対する安全利用について、広報啓発を推進する。



(6) 高齢運転者の交通事故防止

- 加齢に伴う身体機能の変化が運転などに及ぼす影響等の交通安全教育及び広報啓発を推進する。
- 運転免許証の自主返納制度及び自主返納者に対する各種支援施策について広報する。
- 先進安全技術を搭載した安全運転サポート車（略称：サポカーS）について普及啓発に努めるとともに、サポートカー限定免許制度についての広報啓発を推進する。
- 身体機能の変化等により、安全な運転に不安のある運転者等に対する安全運転相談窓口（＃8080）を積極的に周知し、必要に応じて利用を促す。

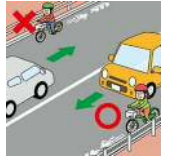
(7) 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

- 「カチッと100!」を合言葉に、後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用を必ず声掛け・確認してからの出発を促進する。
- シートベルトの高さや緩みの調整、チャイルドシート本体の確実な取付け方法及びハーネス（肩ベルト）の締付け方等、正しい使用方法の周知徹底を図る。

運動重点3 自転車の交通ルール遵守の徹底

(1) 自転車の交通ルール遵守と交通マナー実践の徹底

- 「自転車安全利用五則」に定める通行方法や、自転車通行空間が整備された箇所における通行方法の周知と遵守の徹底を図る。
- 信号の遵守や交差点での一時停止のほか、並進、飲酒運転、夜間の無灯火走行の禁止など、基本的な交通ルールの周知と遵守の徹底を図る。
- 傘さし等の片手運転、イヤホンやスマートフォン等使用時の危険性について周知と指導を徹底する。
- 自転車を用いた配達業務中の交通事故防止のために、関係事業者等に対する交通安全対策の働き掛けや、自転車配達員への街頭における広報啓発、飲食店等を通じた配達員への交通ルール遵守の呼び掛け等を推進する。



(2) 自転車利用者の安全確保

- 改正道路交通法に基づき、全ての自転車利用者に、ヘルメット着用の努力義務化を踏まえた着用の徹底に向けた広報啓発を推進する。
- 自転車事故被害者の救済に資するための損害賠償責任保険等への加入を徹底する。
- 自転車の安全を確保するための定期的な点検整備を促進する。
- 幼児を幼児用座席に乗車させる際のシートベルト着用と、幼児二人同乗用自転車の乗車・降車時及び雨天時における転倒等の具体的な危険性の周知や安全利用を広報する。



子供を乗せる時

まず 後部座席(大きい子供)
次に 前部座席(小さい子供)

子供を降ろす時

まず 前部座席(小さい子供)
次に 後部座席(大きい子供)

←イラスト出典 (一般社団法人 自転車協会)